

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第45週 (11/6-11/12) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		45週	44週	43週	42週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数
 下段:定点当たりの患者数
 「定点当たりの患者数」とは
 報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	11/6-11/12	10/30-11/5	10/23-10/29	10/16-10/22	10/30-11/5
			45週	44週	43週	42週	44週
小児科	RSウイルス感染症		5	1	5	3	59
	咽頭結膜熱		6	3	7	2	57
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	36	29	25	21	312
	感染性胃腸炎		69	70	68	62	378
	水痘		6	4	3	4	62
	手足口病	↓	27	41	55	38	279
	伝染性紅斑		1	2	1	0	8
	突発性発しん		10	8	11	9	46
	百日咳		0	0	1	0	0
	ヘルパンギーナ		3	4	7	5	63
	流行性耳下腺炎	○	9	5	7	0	28
インフル	↓	8	9	7	5	145	
眼科	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0.29	0.32	0.25	0.18	0.68
	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		4	4	5	5	27
基幹定点	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	5
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(10件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	画像診断	結核	女性	70歳代	IGRA検査
結核	男性	30歳代	画像診断等	急性脳炎	男性	30歳代	高熱及び中枢神経症状
結核	女性	40歳代	画像診断等	急性脳炎	女性	10歳未満	中枢神経症状
結核	女性	60歳代	画像診断等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	10歳未満	病原体の検出等
結核	女性	60歳代	画像診断等	梅毒	男性	70歳代	血清抗体の検出

・第45週は、結核6件(187)、急性脳炎2件(19)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(24)、梅毒1件(27)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第45週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し2.00となった。過去10年の同時期と比べると多め。

<手足口病> 前週より減少し1.50となり、流行発生警報終息基準値を下回った。

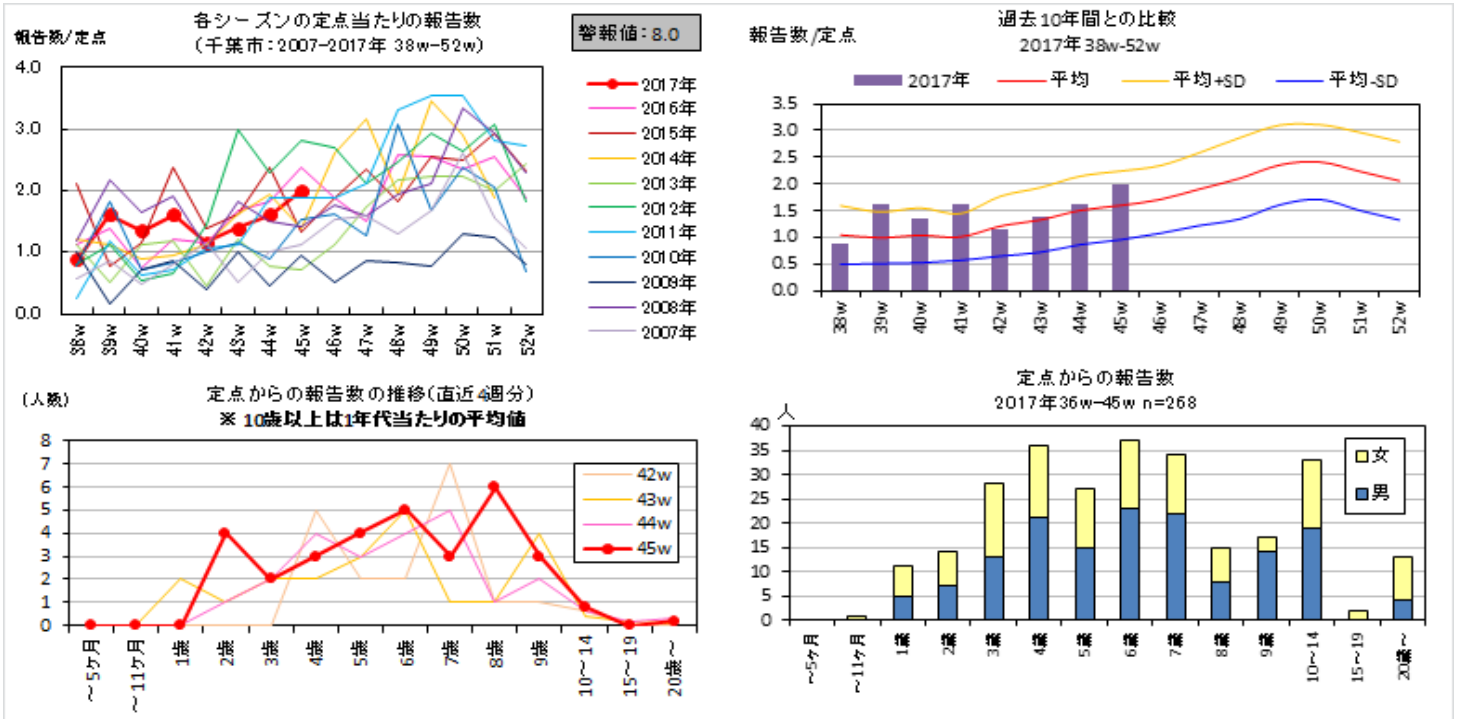
<流行性耳下腺炎> 前週より増加し0.50となった。過去10年の同時期と比べると多め。

<インフルエンザ> 前週より減少し0.29となったが、今シーズンで初めて全区から発生報告があった。過去10年の同時期と比べると少なめ。

■ トピック ■

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第44週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では山形県、鳥取県、福岡県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の2017年第45週は前週より増加し2.00となりました。過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、稲毛区(4.00/定点)で最多で、同区の6歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第45週までの累積報告数(n=268)によると、性別では男性が56.3%(151名)、女性が43.7%(117名)で、年齢階級別では6歳(13.8%:37名)、4歳(13.4%:36名)、7歳(12.7%:34名)の順に多くなっています。



<流行性耳下腺炎>

全国レベルの第44週は過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では鹿児島県、大分県、岩手県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の2017年第45週は前週より増加し0.50となりました。過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、中央区(1.67/定点)で最多で、同区の10歳代前半で多く発生報告がありました。2017年第1週から第45週までの累積報告数(n=192)によると、性別では男性が55.7%(107名)、女性が44.3%(85名)で、年齢階級別では5歳(14.6%:28名)、4歳(14.1%:27名)、7歳及び10歳代前半(共に12.0%:23名)の順に多くなっています。

